

科目名	学科名	対象学年	単位数	期間	履修
古典A	普通科	3年	2単位	通年	選択

科目の目標	○時代がいかにか変わろうとも普遍的な教養があり、かつて教養の大部分は古典などの読書を通じて得られてきた。古典は文化と深く結びつき、文化の継承と創造に欠くことができないものである。このような文化の基盤としての古典の重要性を踏まえ、必履修科目である「国語総合」の古典の分野の内容を発展させ、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育成することをねらいとし、伝統的な言語文化を継承し、現代に生かすために古典への興味・関心を広げることを重視する。			
	学習内容	○古典などに現れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察する。 ○古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ○言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解する。 ○主に次のような言語活動を通して学習する。 ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読、朗読、暗唱をすること。 イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。 ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。		
評価方法		○次の観点に基づき学習内容のまとまり（単元）ごとに評価を行い、それらを総括して学年末に5段階の評定を行う。		
	観点	主体的に学習に取り組む態度	思考力・判断力・表現力	知識・技能
	評価方法	古典を読むうえで必要な教養を蓄えようするとともに、古典を自己の人生に関連づけようとしている。	古典に表れた思想や感情を捉え、考察するとともに、他者との考えを通わせ、自分の考えを深めることができる。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。また、古文や漢文の内容を読み取る技能を身に付けている。
	行動・態度	◎		
	発言・発表	◎	◎	○
作品・提出物	○	◎	○	
※表中の◎は、より重視する観点である。				
教材	教科書	『高等学校改訂版 標準古典A 物語選』（第一学習社）		
	副教材	※「国語総合」「古典B」に準ずる。 『巻頭増補版 最新国語便覧』（浜島書店） 『基礎から学ぶ 解析古典文法 改訂新版』（桐原書店） 『Key & Point 古文単語330』（いいずな書店） 『精選漢文』（尚文出版）		
履修上の注意	文型の選択科目であるが、3学年は「古典B」が共通選択必修科目となっているので、それに加えて古典を学びたい者が履修すること。受験の個別対策（過去門等）を行うという目的ではないことに留意すること。授業で学んだことを通して、各自の自他理解が深まり、社会生活に活かされることを期待する。			